

早稲田大学日本語教育学会 2013年 春季大会プログラム

開催日時 2013年 3月30日(土) 12:50~17:30

【会場】早稲田大学早稲田キャンパス 22号館 201・202・203教室

【時間】受付 12:20~ (22号館2階エレベータホール)
 開会式 12:50~12:55 (201教室)
 ポスター発表 13:00~14:00 (202教室)
 口頭発表 13:40~15:20 (201・202・203教室)
 企画 15:30~17:30 (201教室)

【ポスター発表】13:00~14:00

時間	会場：202教室
13:00 ~ 14:00	(1) 日本語教育主専攻の大学院生は協働的学習をどのように捉えたか — 実習生と学習者の2つの立場で記述したダイアリーの分析から — 込宮 麻紀子 (修士課程)
	(2) 日本語学習者の職場環境における音声習得に対する意識の考察 — 日本企業に就職する学習者の事例から — 諸井 美砂 (修士課程)
	(3) 在アイルランドの日本にルーツを持つ子ども達の日本語の学び — アイルランドの言語教育政策との相関に注目して — 稲垣 みどり (博士後期課程)
	(4) 「移動する家族」はことばとどのように向き合っているのか — タイ在住のある家族の事例から — 内畑 愛美 (修士課程)
	(5) 地域日本語教育における「日本語教育実践」を捉え直す — 地域の日本語教室で活動するボランティアの語りから — 上原 龍彦 (修士課程)
	(6) ライティング・センターは日本語学習者にどのような学びを提供するか — チューターとの対話を通して — 大森 優・秋田 美帆 (以上、早稲田大学日本語教育研究センター) ドイル 綾子 (博士後期課程)
	(7) JSLの子どもが主体的に学べる読み書き支援の視点とは何か — 支援者と<他者>による情意的支えに着目して — 大森 麻紀 (修士課程)
	(8) SENDプログラムのパイロット研修報告2013 (1) シンガポール班 (7名)
	(9) SENDプログラムのパイロット研修報告2013 (2) インドネシア班 (15名)

【口頭発表】 13:40～15:20

時間	会場：201 教室
13:40～14:10	サエの沈黙にどのような意味があるのか — 沈黙を支える実践に関する一考察 武藤 理恵 (修士課程)
14:15～14:45	「書く」ための検索リソース使用実態 — 二人の学習者を事例に — 相川 弓映 (修士課程)
14:50～15:20	交流イベント参加者の語りから見えた言葉の活動の意味 福村 真紀子 (博士後期課程)

時間	会場：203 教室
13:40～14:10	難民 A 氏のための日本語教育実践事例報告 — 支援開始後約 3 か月の実践を中心に — 伴野 崇生 (アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター)
14:15～14:45	学会誌『日本語教育』における日本語教師の「専門性」に関する記述の分析 青木 幸子 (早稲田大学日本語教育研究センター)
14:50～15:20	「自己表現」としての敬語導入の試み ウォーカー 泉 (シンガポール国立大学語学教育研究センター)

時間	会場：202 教室
14:50～15:20	オンデマンドの発音授業における新しい学習支援の試み — BBS によって促された学習者の気づき — 戸田 貴子 (早稲田大学日本語教育研究科) 古賀 裕基・大久保 雅子・尹 淳楨・千 仙永・張 婉明・趙 靚 (以上、博士後期課程)

【企 画】 15:30～17:30

時間	会場：201 教室
15:30～17:30	パネルディスカッション 「日本語教育の未来を早稲田から考える」 川上 郁雄 (早稲田大学日本語教育研究科) 館岡 洋子 () 小林 ミナ () 戸田 貴子 ()

【総 会】 17:35～17:45 (201 教室)

【懇親会】 18:00～19:00 (22 号館 8 階会議室)